旅と文化

発行所
東京都千代田区
西神田 1～3
財団法人全国
修学旅行研究協会
電 (262) 2932・2426
編集・発行人
白滝末紀

第二面に
研修旅行特集

オリンピックで繰上げ
混雑する春の修学旅行
望まれる非行、事故、保健対策

春の修学旅行シーズンがはじまり、関東や関西をはじめ全国の主要都市には、児童生徒の楽しい旅行風景が連日見られるようになつた。特にオリンピックが秋に開催されるので、東京方面への修学旅行は春に繰上げて行う学校が多く、一般の観光客と重なつて、乗物や宿泊地、見学地などが混雑しそうである。そこでこの春に修学旅行の児童生徒がどの位全国的に動くか、また修学旅行時に起る事故や非行問題をはじめ、安全対策などについて調べてみた。

東京方面は春に繰上げが多い

三十九年度の修学旅行総人口は五三六・八万人と推定され（全修協調査）春季の三月―六月までに約三七五・六万人の小、中、高校生が、全国各地の旅行地へ動くことになる。とくに本年秋開催されるオリンピックを避けて春に繰上げて東京方面へ来る学校が多く、京阪神三市の「きぼう号」を利用するところでは、殆んどが春に実施しているので、東京方面の見学地や宿泊地は混雑する。この為に東京都以外の箱根、日光などに宿泊する学校が増えている。

修学旅行の生徒で一ぱいになつた皇居前広場

国鉄輸送は二百万人

国鉄の春（三月―六月）の輸送計画では、小口や連合による修学旅行の専用列車の数は、九五二〇件で一九九・六万人になつており、昨年同期の計画より約二万近い増加である。しかし本年春の中学高校生徒の修学旅行数は約二四五万人と推定されるので、約四五万人が一般列車へ混乗したり私鉄やバスや船舶などを利用することになる。国鉄の昨年春の輸送実数は二一万人であるから更に本年春の計画以上を輸送することも可能であり、秋季には一五〇万人の輸送も計画しているので年間を通じて三六〇万人―三七〇万人の輸送ができそうである。したがつて春へ繰上げた地域以外は、大体昨年並みと言うことができよう。ただ毎年の例であるが、春は一般観光客のシーズンと重なるので、修学旅行は計画的に専用列車を使用して一般客との混乗はできるだけさけねばならない。

非行や事故対策

修学旅行は、期間や経費の点においても、各教科指導や道徳教育、集団教育の面においても、学校行事の中で最も大きいものである。したがつて実施に当つての学校の事前の準備や教育には、単に旅行学年の担任教師のみでなく、学校全体の教職員が当ることが望ましい。時に最近の交通事情から交通道徳は勿論、宿泊旅館でのエチケットをはじめ、自由外出時の生徒指導など、集団行動における道徳的指導を十分に行う必要がある。既に今春東京都内の盛り場で不良少年から被害を受けた高校生のことが新聞に報道されている。昨年秋には東京タワーで高校生による集団万引の事件も起きている。この為には旅行地の警察署へ日程と旅館名などを事前に連絡して非行防止に協力を要請しておくことである。また不慮の火災や食中毒などのために、旅行先の保健所や消防署への連絡も忘れてはならない。

保健に特別配慮を

今春の修学旅行で、保健上注意すべき点にインフルエンザの流行がある。現在のところ下火になつているようであるが、二月中旬厚生省に集つた報告では、全国で十九万人の児童生徒がかかつており、九州方面から次第に東方へ患者発生が移つている。本年は暖冬で全国的に気候が不順であるから、初春の四月頃の修学旅行には、児童生徒が風邪にかからないよう特別の配慮が望ましい。

厚生省公衆衛生局の永川省一技官は次のように対策をのべている。

「旅行出発前、校医から全児童生徒の健康診断を十分に行う。万一旅行中に発病した時は、校医や養護教諭の適確な判断で処置する。車中や旅館での飲食物の注意は勿論、生水は赤痢の原因になり易いので飲まないこと。旅行中は環境が変り、緊張が連続し睡眠が不足がちとなつて身体の抵抗力が弱まり、胃腸の消化力がおとろえて下痢などが起し易いので間食をつつしんだがよい」

主張　修学旅行は社会での公開授業

いよいよ修学旅行の季節を迎えることとなつた。全国の有名地は再びこれ等修学旅行の生徒で賑うことであろうが、「旅の恥はかき捨て」の演出をしないよう願つてやまない。

今更言うまでもないことだが、生徒の行為は本人の先天的性格と家庭、社会環境に影響されることが多いが、学校教育の指導力の如何を、われわれは大きく取り上げたい。少くとも教師が引率する生徒の集団行動は、生生しい教育発揚の場であるから、その時点の生徒の行為は指導力の成果であると見られよう。修学旅行は単なる物見ではなく、日頃その学校の指導力のテストの機会であり、また集団指導の場でもある。いわば社会での公開の授業である。全関東団体旅館協議会の役員であるA氏が、「長野県の生徒さんは全く感心です。旅館に着くと生徒の代表者が、玄関先で従業員全部に対し、ご厄介になります。よろしくお願いします」と、挨拶し食事が終ると自分の膳部をめいめい調理室まで持参し、明日は、室内を清掃し、お礼を述べて帰る」ということを語つていた。又バスのガイドさんも「長野県の生徒を私達はリツクサツク部隊と云つています。その見学態度のよいことには感心しています」と口を揃えて話しているところを見ると、他県とは違つていることは事実のようだ。これなどは一朝一夕の付焼刃的指導では到底不可能なことで、日頃の指導の徹底が伺われ、敬意を表せざるを得ない。

修学旅行は、各教科に亘つての直接経験の場であり、集団訓練、道徳教育の綜合的指導の場であり、生生しい社会の中での学習であるだけに、その指導は全く容易でなく、教師諸君に対しては心からその労に感謝を捧げるものであるが、従来ともすれば現地における指導は、果して衆人監視の中での公開授業的立場で臨まれていたかどうか、特に一般社会人の中で指導を遠慮してはいなかつたかを反省したい。修学旅行に於てはいつ、いかなる場所においても指導力を発揮する勇気を要請したい。そこに父兄も一般社会人も敬意をはらい、公開授業の優秀さに拍手を送ることだろう。特にオリンピック開催年でもあるから、日本独得の修学旅行の価値を大いに発揮していただきたい。

生徒の喜びを乗せて
関東、近畿地区修旅専用電車　四両第一陣出発
品川駅、大阪駅で祝賀式

関東地区（東京都を除く）及び近畿地区（京阪神三市を除く）各県の中学校生徒数は、衛星都市や団地の発達で年々急増しているので修学旅行専用電車建造の希望が両地区の学校現場に数年前から起つていた。全修協は公益法人の立場で、これが実現のため、三十六年以来国鉄や関係方面に、両地区の関東地区中学校修学旅行委員会（会長群馬県教育長田村遂）近畿二府三県中学校修学旅行委員会（会長大阪府教育長鍋出庄蔵）と共に運動を進めてきたところ、三十八年五月国鉄本社において、三十九年度は暫定として各四両を建造することが決つた。そこで関東、近畿両地区では三十九年度輸送の計画に入り、昨年秋、関東地区では合計一一二校二七、九二六名、近畿地区では合計三三七校、六九、〇五四名の輸送日程が決定した。四両輸送は両地区共「ひので」「きぼう」に連結されるが、その第一陣は、関東地区では四月五日千葉県松戸市立第五中、小金中の三七一名が品川駅より、近畿地区では四月六日大阪府月州中、奈良県生駒南中六七〇名が大阪駅より出発し祝賀式が行われた。

教師用修旅パンフレット　三和銀行より出版

近畿、関東地区の四両建造を記録して、全修協監修による教師用の〝修学旅行パンフレット〟が三和銀行より出版されることになつた。

全修協第6回総会開かる
修旅の改善と向上に長期総合計画樹立
各界多数の来賓を迎えて盛大に挙行

とき　39,4,8～9　ところ　三重県伊勢市

全修協第六回通常総会は各界及び地元多数の来賓を迎えて四月八日九日の両日に亘り、三重県伊勢市の神宮如雪園大ホールで盛大に開催される。〝発足以来八年目を迎えた来修協は、設立の精神に基き全国支部長及び協力者と共に修学旅行の改善と向上をめざして、修旅の実態調査、研究会や座談会の開催、教職員の研修旅行、各地修学旅行委員会の設立、専用電車や船の建造、資料の出版など地道な活動を続けてきた。ようやく全修協の事業がわが国の教育界をはじめ各界に知られるようになつたが、第六回総会では更にこれを躍進させ、現下の修学旅行における幾多の問題点の解決のため、長期三ケ年計画によつて一層事業の進展をはかるものである。

会は山本理事長の挨拶に始り、来賓祝辞の後、修学旅行研究発表、会務報告、議案の審議などがあり七日と八日には修学旅行映画を上映、九日には鳥羽、二見地域の修旅コースの実地研修を行う予定になつている。

関西汽船の修学旅行専用第二船「ふたば丸」
別府港でレセプション

関西汽船の修学旅行専用第二船「ふたば丸」が三月十一日より瀬戸内海に就航し、去る三月十四日別府港において、市内中学生や先生四五〇名と木下大分県知事、渋谷県教育長、別府市長、校長会長をはじめ、関西汽船から長谷川専務や藪出別府支店長、立花係長、全修協から山本理事長、白滝局長、九州各県支部長など多数の来賓を乗せて、別府港内を回航する試乗の形で盛大なレセプションが行われた。当日は新聞、ラジオ、テレビ等の放送陣も多数参加し、祝福のムードに包まれた意義ある披露の行事であつた。

文部省選定　修旅映画〝若い瀬戸内海〟
全修協で監修

文部省選定、大阪府市教育委員会推薦になつた全修協監修の修学旅行映画（一六ミリ）〝若い瀬戸内海〟は、住友銀行の企画、関西汽船の協力により、学研映画局で三月完成された。大阪市においては既に三月二十六日試写会が開催され、多数の学校や関係者が参観した。この映画は、瀬戸内海の美観と産業の過去、現在及び未来の姿が、鮮やかな色彩と感動させる音楽の伴奏によつて作られており、他の修学旅行映画にない内容が盛られているので、修学旅行の事前教育のみでなく、社会科や人文地理などの教科指導にも大いに役立つであろう。この映画上映希望校は無料貸出しをしているので、送料を添えて協会本部宛へ借用期間を明記の上申込まれたい。

ブルーリボン賞に輝く近鉄あおぞら号〝愛唱歌〟の贈呈

総二階建ての豪華な近鉄の修旅電車「あおぞら号」は本年度のブルーリボン賞に選ばれている。楽しい春の修学旅行のシーズンを迎えて、児童に歌い易い〝あおぞら号愛唱歌〟が昨年近畿地区あおぞら号運営委員会と全修協から出版され希望校に贈呈している。

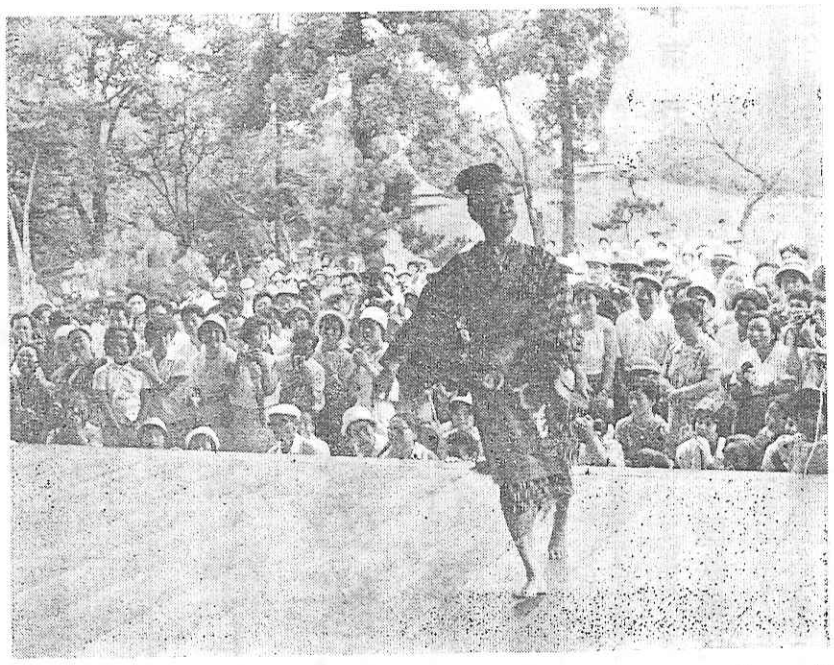
九州旅行に参加して（一）

全修協秋田県支部長　梅津正雄

昭和三十八年度の九州旅行に参加する機会を得たが、当時の日程を振返つてみると全く素晴しい旅だつたと今懐しく思い出される。

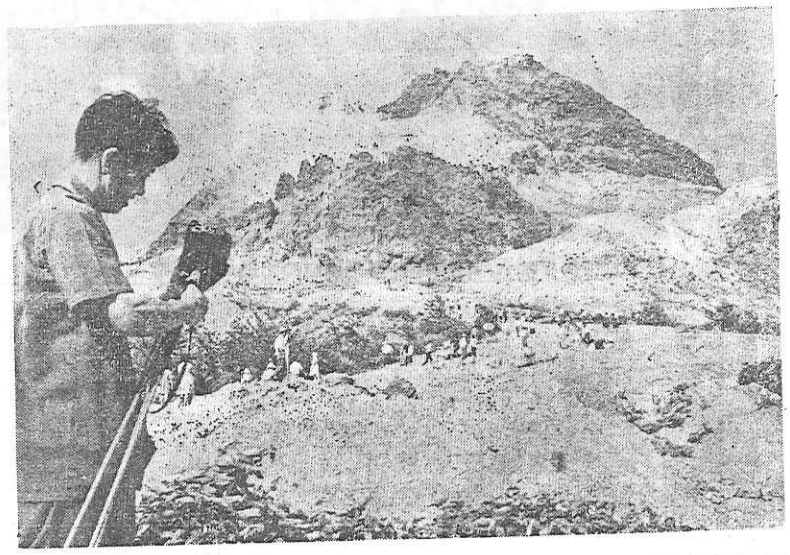
先づ第一天候に恵れた。東北居住の私には多少暑いという感じもない訳ではなかつたが車窓からは風が入つたし、清涼な高原地帯が行程の中に多かつたし、想像したほど苦しいこともなかつた。また品川駅から出発した専用列車は県毎に座席は定められ、期間中変らなかつたこともよかつた。夜になれば二枚の板がかけ渡されそれに毛布が敷かれるので安座もできたし足を伸ばして楽な姿勢もとれておまけに通路には長い薄べりが敷かれここに横臥もできた、称してお座敷列車といつたが仲々うまい構案だ。専用列車だからこれもできたのだろう。しかも運行ダイヤの間隙を縫つて急行列車なみの速度で東海道線、山陽線をつつ走るのだから愉快だ。車中には近畿ツーリストの青年社員が拾数名乗りこんでいてお茶だ弁当だ、冷した水だと万事万端世話してくれるので同の不自由もなかつた。マイクからは時々大切な事項の連絡放送がある。それに全員に軍宝な肩かけカバンを配つてくれたし、ガイドブツクも渡してくれた。

第七回 研修旅行写真コンクール入選作品



↑ **推薦** おてもやん　東京都立新宿高等学校　初田　一郎

（評）題名そのものズバリといつた写真です。



→ **特選** さあ！昭和新山を入れて　群馬県沼田高等学校　横手　雅昭

（評）ひとつ傑作をと、三脚をとりつけている男性の表情の良さ。

← **特選** 一号車の客　青森県名久井第一中学校　高橋　敬

（評）バスガイドの説明に嫌味がなく、お客にバラエティがあつて面白い。

入選（一〇名）敬称略

学習院大学　内野　光子
三重県松阪市鎧田中　多賀ますみ
大阪府寝屋川市　森下　喜美
千葉県市川一中　小林　一英
埼玉県小川和田中　神部　かね
徳島市徳島中　安淵　弘文
広島県加計高　貴田　勝子
横須賀市田戸小　石渡　儀平
山梨県吉田高　三橋　直喜
広島県東の川小　松田　広

佳作（三〇名）

（兵庫県）木田義照（福岡県）小江保新（京都府）山田雅子（香川県）小野貴美子（福井県）増田聖二（東京都）初田一郎（新潟県）近藤和子（長野県）渡辺菊治郎（岐阜県）広瀬利一（広島県）目石芙美子（神奈川）岡本功（愛媛県）得能克美（神奈川県）矢島浜江（千葉県）加藤武（神奈川県）小笠原シズ子（千葉県）島ちえ子（岐阜県）水野公元子（徳島県）安淵弘文（東京都）土屋昌子（千葉県）逆井茂（青森県）松橋キミ（東京都）加藤貫一（群馬県）田中昭和（東京都）野村幸雄（東京都）

教育界の一大行事
研修旅行ますます好評
申込者既に昨年を上廻る

全修協企画の教職員夏季研修旅行は三十二年以来既に第八回目を迎え、その参加会員は広く全国各地から約三万人に及んでおり、夏休みを有意義に活すこの研修旅行の価値は高く評価されて教育界における夏季の一大行事となつてきた。

本年第八回の夏季修旅行会員募集は既に各県毎に行つているが、四月五日現在昨年の参加数をはるかに上廻つており、メ切り以前に満員になることが予想されるので、参加希望の方は早目に申込まれることをおすすめする。尚、コース別の主要見学地は次の通りである

北海道一周コース

函館―現地講演、修道院、五稜郭、函館山（立待岬）湯の川温泉
札幌―北大、時計台、植物園（市内一巡）定山渓温泉
上川―層雲峡、大雪山展望、石北峠、温根湯温泉
網走―北見、天都山、原生花園オホーツク海、知床展望、
阿寒―美幌峠、屈斜路湖、硫黄山、摩周湖、川湯、弟子屈温泉、阿寒湖、マリモ展示地、釧路
担振―白老アイヌ部落（白老小校長講演）登別温泉、昭和新山、洞爺湖（湖上遊覧）洞爺湖温泉

この間車窓から羊蹄山、小樽の街並、北欧的な農牧地風景、駒ケ岳などが見える、特に大雪山の残雪や、雄大に北に延びる知床半島の姿は北辺の地、北海道ならではの強い印象であろう。

九州一周コース

別府―高崎山、別府市内、地獄巡り、鶴見岳、由布岳、城島高原、志高湖
宮崎―青島、手供国、日南海岸
霧島―えびの高原、霧島連峰、霧島温泉、霧島神宮
鹿児島―桜島（溶岩道路、古里）城山、市内、開聞岳、池田湖、長崎鼻、指宿温泉、
熊本―熊本城、阿蘇火山（現地学習指導）水前寺（民藝、画）
長崎―仁田峠、雲仙温泉、長崎市内
佐世保―市内、旧軍港、九十九島、西海橋
有田―嬉野温泉、有田焼窯元
福岡―市内、太宰府

伝説と歴史と近代産業の九州は見ても聞いても興味がつきない。魅力ある九州へ行こう、美しい南国調が待つている。

黒部、立山 能登一周コース

富山―立山登山軌道、弥陀ケ原（頂上附近）立山山崎カール観望
黒部―宇奈月温泉、登山軌道、鐘釣温泉
能登―和倉温泉、七尾、九十九湾、小木、能登飯田、時国邸、曾々木海岸、輪島、総持寺、厳門
金沢―兼六公園、市内見学

富山附近から見る立山連峰の三山（立山、剣岳、薬師岳）は緊晴らしく、登山軌道で頂上至近の弥陀ケ原まで登つての展望はまた雄大である、それから黒部峡谷と奥能登と廻る。日本の秘境としては、何れも指折りのものであろう。

アルプス 信州一周コース

信州―唯永峠、軽井沢、鬼押出し、小諸（懐古園―城跡、藤村記念館）別所温泉、長野市（善光寺）湯田中温泉、志賀高原（丸池、熊の湯、木戸池）松本市（松本城）
アルプス―上高地、平湯峠、乗鞍山荘（乗鞍頂上附近）高山市、下呂温泉

浅間の煙に、藤村と馬子唄、それだけでも信濃路だが、志賀高原から上高地、さらに乗鞍へかけての山々は去り難い思いである。

南紀一周コース

伊勢―伊勢市、外宮、内宮、二見、鳥羽（真珠島、松島）
紀州―新宮市、瀞峡、勝浦温泉那智の滝、青岸渡寺、邦智
大社、串本、潮岬、白浜温泉（泉郡めぐり）和歌山市高野山―大阪

紀勢線の貫通はまだ耳に新らしい黒潮の招きに応じ、南紀へ行こう

山陰一周コース

山口―小郡、秋芳洞、萩市（松下村塾、萩城趾）青海島、長門湯本温泉
島根―出雲市、出雲大社、玉造温泉、松江市（小泉八雲記念館、講演）美保関
鳥取―墳、伯耆大山（大山寺）三朝温泉、鳥取砂丘、鳥取市。山陰はゆく機会のすくないコースである。今年こそは是非参加しよう。

沖縄コース

那覇―糸満（現地腹門中墓、白銀堂）
戦跡―白梅の塔、ひめゆりの塔魂魄の塔、島守の塔、黎明の塔
首里―守礼門、琉球大学、博物館、紅型染織工場
牧港―外人商社地域
普天間―平和観音像、中村家、中城々跡、北谷
嘉手納―空軍基地、月の浜、万座毛
名護―金武鍾乳洞
石川市―ゴザ市、泡瀬ショッピングセンター

飛行機と船の旅。地図の上ではほんの点に過ぎないような小さな島だが国際的にはこれはまた、とほうもない大きさを持つている。それが沖縄だ。

詳しいコース、日程、費用、申込み方法については、各学校配布の資料をごらん下さい。

総評

旅行の楽しさや自然の美しさが出ていて、アマチュアの作品としては及第点でしよう。構図も大切ですが、何を表現しているのか、その意図が第三者に容易にわかるものであつてほしい。

夏休みを利用する　教職員の

第8回研修旅行会員募集

詳細は各学校へ配布の募集資料をご参照下さい

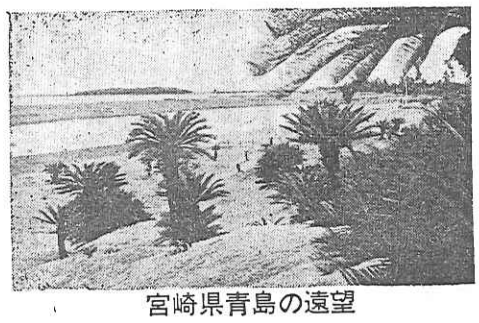
財団法人　全国修学旅行研究協会

東京都千代田区西神田1の3　TEL（262）2426・2932

北海道

白老アイヌ部落 酋長 宮本氏

九州



宮崎県青島の遠望